

公益社団法人 日本水産学会
平成 28 年度第 5 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 28 年 10 月 8 日(土) 13 時 03 分～14 時 55 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学
品川キャンパス 2 号館 2 階 200A-2 会議室(東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数
総数 17 名, 定足数 9 名
- 4 出席理事数 16 名
(本人出席) 秋山秀樹, 荒井克俊, 荒井修亮, 菅野信弘, 木島明博, 黒倉 寿, 古丸 明, 佐藤秀一, 青海忠久, 塚本勝巳, 中田英昭, 萩原篤志, 山下 洋, 山本民次, 良永知義, 和田時夫
(監事出席) 青木一郎, 北田修一
(幹事出席) 荒川久幸, 鈴木直樹, 芳賀 穰, 糸井史朗, 二見邦彦, 小林武志
(オブザーバー) 岡崎恵美子(理事候補者), 重 義行(理事候補者, 第 2 号議案の審議中の 13 時 07 分に着席), 山下伸也(理事候補者)

5 議 案

決議事項

- 第 1 号議案 「編集委員会委員交代」の件
- 第 2 号議案 「日本水産学会誌記事の編集方針」の件
- 第 3 号議案 「平成 29 年度春季大会運営委託業者」の件
- 第 4 号議案 「平成 29 年度春季大会募金目論見書」の件
- 第 5 号議案 「平成 29 年度日本農学賞受賞候補者の推薦」の件
- 第 6 号議案 「共催及び後援」の件
- 第 7 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 1 回臨時理事会以降の職務執行の状況
その他

6 議事の経過及びその結果

議事に先立ち, 塚本会長より理事候補者の紹介があった。

(1) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 塚本会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「編集委員会委員交代」の件

佐藤総務担当理事から, 編集委員会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果, 出席理事全員一致で次の通り可決した。

[辞任] 有路昌彦 [選出] 大石太郎

第 2 号議案 「日本水産学会誌記事の編集方針」の件(別紙 1)

良永企画広報担当理事より, 企画広報委員会が作成した日本水産学会誌記事編集方針の原案の説明があった。審議の結果, 出席理事全員一致で原案通り可決した。さらに, 良永理事より, 日本水産学会誌等に掲載予定であるとの説明があった。

第 3 号議案 「平成 29 年度春季大会運営委託業者」の件

菅野関東支部担当理事から, 平成 29 年度春季大会委託運営業者について 2 社の見積書の説明があった。審議の結果, 出席理事全員一致で, トーヨー企画に平成 29 年度春季大会の運営を委託することを可決した。

第 4 号議案 「平成 29 年度春季大会募金目論見書」の件

菅野関東支部担当理事から, 平成 29 年度春季大会募金目論見書の原案の説明があった。審議の結

果,出席理事全員一致で原案通り可決した。

第5号議案「平成29年度日本農学賞受賞候補者の推薦」の件

荒井(克)学会賞担当理事から,平成29年度日本農学賞受賞候補者の推薦について原案の説明があった。審議の結果,出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第6号議案「共催及び後援」の件

佐藤総務担当理事から,共催及び後援の説明があった。審議の結果,出席理事全員一致で次の通り可決した。

公開シンポジウム「成熟社会における持続可能な水産業のあり方とその中長期戦略」

主催 日本学術会議食料科学委員会水産学分会
共催 水産・海洋科学研究連絡協議会 他3団体(予定)
後援 大日本水産会 他16団体(予定)
日程 平成28年11月18日(金)
場所 日本学術会議講堂(東京都港区)
希望 共催
負担金 なし

シンポジウム「稚魚研究の明日をひらく - 沖山先生をこえて」

主催 稚魚研究会
後援 日本魚類学会 他5学会
日程 平成28年11月26日(土)・27日(日)
場所 東京海洋大学大講義室(東京都港区)
希望 後援
負担金 なし

第7号議案「入会承認」の件

審議の結果,出席理事全員一致で原案通り可決した。

(報告事項)

第1回臨時理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長 特になし。

・庶務関係

佐藤総務担当理事より,次の報告があった。

- 1) 平成28・29年度会長指名理事候補者の諾否結果について
支部幹事のうち94名が回答し,会長指名理事候補者として次の3名が承諾された。
岡崎恵美子(東京海洋大学),重 義行(大日本水産会),山下伸也(日本水産(株))
- 2) 平成29・30年度学会賞選考委員会委員選挙結果について
平成29・30年度学会賞選考委員会委員選挙開票結果について次の通り報告があった。
水圏生産科学A:山本民次,今井一郎,中田英昭,笠井亮秀,(次点)帰山雅秀
水圏生産科学B:東海 正,板倉良孝,八木信行,片山知史,(次点)北田修一
水圏生命科学:金子豊二,潮 秀樹,岡崎恵美子,尾島孝男,(次点)小林牧人
分野なし:佐藤秀一,黒倉 寿,松山倫也,(次点)良永知義
- 3) 除名者(会費未納)及び資格喪失者(会費未納)の会費納入による退会者への変更について
金 真久(外国会員,平成21年度除名)
出羽慎一(正会員,平成27年度資格喪失)
- 4) 学会事務職員の期末手当について
学会事務職員の期末手当を支給する。
- 5) 短時間勤務有期雇用職員の退職と採用について
8月31日に退職した職員に替わり,10月1日より週4日勤務となる職員を新たに雇用した。
- 6) 協賛について
共催,協賛,後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

第 58 回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会
共催 東京大学生産技術研究所(生研研究集会)
協賛 日本船舶海洋工学会 他 6 団体
日時 平成 28 年 10 月 14 日(金)
場所 東京大学大気海洋研究所(千葉県柏市)
希望 協賛
負担金 なし

海洋調査技術学会第 28 回研究成果発表会

主催 海洋調査技術学会
協賛 海中海底工学フォーラム 他 19 団体
日時 平成 28 年 10 月 25 日(火)・26 日(水)
場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 121 号室(東京都千代田区)
希望 協賛
負担金 なし

第 16 回基準油脂分析試験法セミナー

主催 日本油化学会
協賛 日本農芸化学会 他 5 学会
日時 平成 28 年 11 月 24 日(木)・25 日(金)
場所 油脂工業会館(東京都中央区)
希望 協賛
負担金 なし

7) 日本農学会法人化対応委員会の委員推薦について

日本農学会法人化対応委員会として、良永知義(東大院農)を推薦した。

・企画広報関係

良永担当理事より、第 4 回委員会を 7 月 2 日に、第 5 回委員会を 9 月 10 日に開催した旨報告があった。

・財務関係

山下担当理事より、会計担当者を対象とする会計事務の研修会を 9 月 9 日に開催したと旨報告があった。

・編集関係

黒倉担当理事より、9 月 10 日に開催した委員会について、次の報告があった。

1) Fisheries Science 83 巻表紙デザインを決定した。

この件について、以下の質疑応答があった。

北田監事: 被写体となっている人物に対する許可を得ているのか。

黒倉理事: 撮影者と被写体となっている人物は承諾済みである。

2) 日本水産学会誌原稿の書き方を次の通り改定する。

a) 日本水産学会誌の被引用数がインパクトファクターに反映されるように、著者名と雑誌名を英語表記とする。

b) DOI による引用も認める

c) 83 巻 1 号掲載分から適用する。

この件について、以下の質疑応答があった。

良永理事: 改正案では、英語以外の言語で書かれた文献に英訳タイトルがない場合、タイトルを記載しないことになっている。しかし、英語以外の言語で書かれた博士論文の場合、タイトルも記載しないと、識別性が悪くなるのではないか。

黒倉理事: 大学名、著者名や発行年等から該当論文を確定できると思われるが、どのように扱うべきか編集委員会で検討する。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事より、次の報告があった。

- 1) 第2回委員会を9月8日に開催した。
 - a) 日本水産学会賞, 日本水産学会功績賞, 水産学進歩賞, 水産学奨励賞および水産学技術賞の候補者を選考した。
 - b) 各賞の受賞題目について各候補者に確認を依頼した。
 - c) 日本農学賞の候補者の推薦を選考した。
 - d) 次年度以降の各賞の推薦書式について, 継続審議とした。

2) 第15回日本農学進歩賞の選考結果について

加藤豪司(海洋大)「魚類独自の免疫機構を利用した新しい水産用ワクチン技術の開発」
この件について, 荒井(克)理事より, 本候補者の受賞が決定したとの補足説明があった。

・シンポジウム関係

木島担当理事より, 9月10日に開催した委員会について, 次の報告があった。

- 1) 平成29年度日本水産学会春季大会のシンポジウム企画案3件, ミニシンポジウム企画案4件を協議し, 了承した。
- 2) 平成29年の日本水産学会秋季大会は国際シンポジウムとなるので, 同時期に委員会を開催せず, 書面による審議とする。
- 3) シンポジウムの企画提案書にある水産学シリーズへの出版希望の有無を削除する。

・出版関係

木島担当理事より, 7月12日に開催した委員会について, 次の報告があった。

- 1) 副委員長に横田会員が就任した。
- 2) 平成29年3月刊行予定の水産学シリーズの原稿の査読報告と審議を行った。
- 3) 平成29年9月刊行予定の水産学シリーズの企画提案書について協議し, 条件付き採択となった。
- 4) 水産学シリーズの電子書籍化の体制について, 次回の委員会で検討する。
- 5) 次回委員会を平成29年1月10日に開催する。

・水産技術誌監修関係

秋山担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 水産技術9巻1号(「アサリの垂下養殖技術」に関する特集号)の刊行のため, 企画編集委員会を10月下旬から11月上旬に開催する。
- 2) 水産技術9巻2号に掲載予定の投稿原稿の内, 5報が査読済みである。
- 3) 水産技術9巻1号と2号の刊行に向け, 12月末までに第1回水産技術誌監修委員会を開催する。

・国際交流関係

和田担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 第146アメリカ水産学会に国際交流委員会の佐藤委員長を派遣した。
- 2) 国際水産学協議会の会計処理, 今後の対応等について, 同協議会の会長, 事務局長および次期副会長と協議した。
- 3) 平成28年度日本水産学会秋季大会に中国水産学会の事務局長と国際協力委員長が参加した。
- 4) 平成28年11月3日から5日に開催される中国水産学会に, 国際交流委員会の萩原副委員長と胡委員を派遣する

・水産教育関係

荒井(克)担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 9月8日に第2回委員会を開催した。
 - a) JABEEの動向と国内8大学での教育の現状について, (財)農学会において技術士に関する勉強会を企画中である旨報告があった。
 - b) 朝日新聞社・朝日学生新聞社主催の『海とさかな』自由研究・作品コンクールに講師を派遣する。
 - c) 平成29年度日本水産学会春季大会において, ミニシンポジウム(実験実習再考)を開催する。
- 2) 9月8日にミニシンポジウム(水産教育の現場から次世代育成を考える)を開催した。

・水産政策関係

黒倉担当理事 特になし。

・漁業・資源管理関係

荒井(修)担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 委員会を9月8日に開催し、平成29年度日本水産学会春季大会の講演会のテーマを、改良漁具に関する取り組みとすることとなった。
- 2) 講演会(クロマグロの持続的利用に向けた漁業技術研究)を9月8日に開催した(発表件数:5件,参加人数:51人)。

・水産利用関係

菅野担当理事より、次の報告があった。

- 1) 講演会(ハラルにおける水産物利用の展望)を7月11日に開催した。
- 2) 第2回講演会のテーマを検討中である。

・水産増殖関係

木島担当理事より、9月8日に第2回委員会を開催し、平成29年度日本水産学会春季大会の講演会のテーマ(沿岸資源の増殖と管理の最前線 その現状と展望)について審議した旨報告があった。

・水圏環境関係

山下担当理事より、次の報告があった。

- 1) 第2回委員会を9月11日に開催した。
- 2) 研究会(水圏環境の変動に対する植物プランクトンの応答とその影響)を9月11日に開催した。

・男女共同参画関係

良永担当理事より、次の報告があった。

- 1) 第2回委員会を9月9日に開催した。
- 2) 第4回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査のとりまとめや報告書の作成費用の負担を、日本水産学会に、予算要求をする。

この件について、岡崎理事候補者より、つぎの補足説明があった。

- a) 第3回男女共同参画実態調査報告書は男女共同参画学協会連絡会のウェブページで公開されている。
- b) 第4回男女共同参画実態調査への協力依頼があった。

・社会連携関係

古丸担当理事 特になし。

・将来計画関係

青海担当理事 特になし。

・北海道支部、地域連携関係

塚本会長より、平成28年度日本水産学会北海道-東北合同支部大会の開催について報告があった。

・東北支部、地域連携関係

秋山担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成28年度日本水産学会北海道-東北合同支部大会を10月22日、23日に開催する。
- 2) 10月27日に開催される全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表東北地区大会で支部長奨励賞を授与する。
- 3) 第2回幹事会をメール会議にて開催した。
- 4) 幹事会と連絡調整員の合同会議を10月22日に開催する。

・関東支部、地域連携関係

菅野担当理事より、7月26日に開催した幹事会について、次の報告があった。

- 1) 春季大会の運営担当順を変更した。
- 2) 平成30年度春季大会の開催を東京大学大気海洋研究所が担当する予定である。
- 3) 若手の会への支援のあり方について、今後、学会本体で予算を立てることを検討する。

・中部支部、地域連携関係

古丸担当理事より、次の報告があった。

- 1) 支部大会を12月3日に開催する。
- 2) 幹事会と支部総会を12月3日に開催する。
- 3) 平成31年度秋季大会の開催を福井県大学が担当する予定である。

・近畿支部、地域連携関係

荒井(修)担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 28 年度秋季大会を、近畿大学奈良キャンパスで、9 月 8 日から 11 日に開催した(ミニシンポジウム:4 件, シンポジウム:1 件, 懇話会講演会:2 件, 研究会:1 件, 口頭発表:197 題, ポスター発表:154 題, 高校生による発表:12 題, 機器展示:25 団体, 参加人数:561 人, シンポジウム等を含む述べ参加人数:約 870)。

2) 支部例会を 12 月 18 日に開催する。

・中国・四国支部, 地域連携関係

山本担当理事より, 次の報告があった。

1) 支部例会を平成 28 年 10 月 22 日・23 日に開催する

2) 中国・四国支部ミニシンポジウム「瀬戸内海の漁業資源のいまとこれから」を 10 月 23 日に開催する。

3) 平成 30 年度秋季大会の開催を福山大学と瀬戸内海区水産研究所が共同で担当する予定である。

・九州支部, 地域連携関係

中田担当理事より, 支部大会, 総会および例会を 12 月 10 日・11 日に開催する旨報告があった。

・英文書籍監修委員会(特別委員会)

佐藤担当理事 特になし。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)

山下担当理事より, 9 月 10 日に開催した第 18 回委員会について, 次の報告があった。

1) 災害復興支援拠点を, 今後も継続して東北大学に設置する。

2) シンポジウムを開催する(開催時期未定)。

3) 平成 25 年 6 月に発行した小冊子の続編を発行する。

・水産学若手の会(特別委員会)

塚本会長より, 次の報告があった。

1) 北海道-東北合同支部大会で講演会に若手の会のメンバーが企画責任者の一人として参画する。

2) 「秋の学校 in 館山」を年度内に開催する。

3) 平成 29 年度春季大会でミニシンポジウム(サバ 資源・養殖・加工・ブランド化をシームレスにつなぐ若手研究者の集い)を開催する。

・日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会(特別委員会)

青海担当理事より, 次の報告があった。

1) 第 1 回国際シンポジウムプログラム委員会を 9 月 9 日に開催した。

a) プログラムの基本方針が説明された

b) 要旨集, プロシーディングの作成について検討した。

c) 海外の発表者, 著名な研究者の招請に対し旅費を補助する。

d) ベスト プレゼンテーション アワードを設ける。

e) 国際シンポジウムを開催へのタイムスケジュール案が示された。

2) 日本水産学会創立 85 周年記念事業について, 次の報告があった。

a) 各支部の寄附担当委員が挙げた企業や団体に寄附の趣意書と申込書を送付した。

b) 個人会員に学会誌とともに寄附の趣意書と申込書を送付した。

3) 企業の協賛・展示の案内と申込書を関連企業等に送付した。

記念事業について, 以下の質疑応答があった。

中田理事: 記念誌の原稿はいつまでに集めればよいのか。

青海理事: 記念事業が終了した段階までの成果をまとめるので, それ以降となるはずである。

・財務検討委員会(特別委員会)

山下担当理事 特になし。

・水産・海洋科学研究連絡協議会関係

塚本会長より, 日本学術会議主催公開シンポジウム(成熟社会における持続可能な水産業のあり方とその中長期戦略)が 11 月 18 日に開催される旨報告があった。

その他確認事項

・次回の理事会について

佐藤総務担当理事より, 平成 28 年度第 6 回理事会を 12 月 10 日 13 時より東京海洋大学品川キャンパスで開催するとの説明があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、14時55分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成28年10月8日
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監事

監事